様式第２号（第８条関係）

審議会等会議録

会議の名称	第８回加須市魅力ある学校づくり審議会
開催日時	令和８年１０月１３日（火） 午後１時３０分から午後３時４０分まで
開催場所	加須市役所　本庁舎５階　５０５会議室
議長氏名	福田 康宏会長
出席委員	福田 康宏会長、二階堂 朝光副会長、飯田 亜貴子委員、 江森 藤久委員、風間 啓委員、羽鳥 善治委員、町田 彰委員、 尾髙 幸江委員、市川 邦夫委員、南條 みぎわ委員、 大澤 美和子委員、山村 一久委員
欠席委員	関根 憲夫委員、石川 安則委員、石原 肇委員、内田 親委員、 芳賀 英暢委員、清水 尚雄委員、外山 真衣委員、砂川 瞳委員
会議次第	１　開会 ２　会長あいさつ ３　議題 （１）第７回審議会のおさらい （２）基本計画（素案）について （３）各ブロックにおける望ましい再編パターンを考えよう 【グループ協議】 （４）今後の取組について ４　閉会
会議資料の名称	・次第 ・議題（１）関係 資料１　　第７回審議会のおさらい 別紙　　第７回審議会意見シート　主な意見等 ・議題（２）関係 資料２　　基本計画（素案） ・議題（３）関係 資料３　　グループ協議資料 ・議題（４）関係 資料４　　今後の取組について 資料５　　基本計画（素案）に対する意見交換会の実施概要（案）

会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	２人
説明者の職・氏名	魅力ある学校づくり推進室長 鈴木 大輔
事務局職員職・氏名	生涯学習部長　野中 裕、学校教育部長　渡邉 典孝、 学校教育課長兼指導主事　髙橋 一也、教育総務課長　矢部 良貴、 魅力ある学校づくり推進室長　鈴木 大輔、同室主査　渡邉 圭佑、 同室魅力ある学校づくり推進専門員　杉田 勝
会議録の作成方法	■　要点記録 □　全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1　開会
福田会長	2　会長あいさつ
事務局	以後の議事進行については、福田会長にお願いしたい。
福田会長	3　議題 議題（1）第7回審議会のおさらいについて、事務局から説明をお願いする。
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	（資料に基づき説明）
福田会長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。 （意見等なし）
福田会長	続いて、議題（2）基本計画（素案）について、事務局より説明をお願いする。
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	（資料に基づき説明）
福田会長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。 （意見等なし）
福田会長	続いて、議題（3）各ブロックにおける望ましい再編パターンを検討するグループ協議に移らせていただく。 グループ協議には私と二階堂副会長も参加するため、グループ協議終了までの進行を事務局にお願いしたい。
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	（グループ協議の進め方について説明）

	それでは、グループ協議を開始する。
各委員	（３グループに分かれ、グループ協議）
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	それでは、各グループからの発表に移りたい。 まずＡグループからお願いする。
Ａグループ （飯田委員）	Ｂブロックについては、再編パターン③が望ましいとする意見のほか、人数の確保が難しいことから、特色のある学校づくりや自由区にしてみたらどうかといった様々な意見があった。 Ａブロックについては、再編パターン②にあるように小中一貫教育や小規模特認校など、特色のある学校づくりをしてみてはどうかという意見があった。 Ｅブロックについては、様々な意見が挙げられた。 個人的な見解としては、児童の負担軽減という視点から、通学範囲が広がりすぎない再編パターン①が望ましい。 この場合、将来的に騎西中学校への段階的な再編も考えられるのではないか。 Ｃブロックについては、再編パターン③が望ましいという意見であった。 Ｄブロックについては、通学時間の長さによるこどもたちの学力・体力低下といった懸念から再編パターン③が望ましいという意見であった。 このほか、学校再編全般について、開かれた学校づくりとして学びの多様化学校の設置や、空いた学校施設を活用し、各ブロックに防災拠点を設けるといった意見があった。 今後の進め方については、大人だけでなくこどもたちの意見も聞くことも必要である。 また、保護者の中には小規模校や現状維持を望む意見も一定数あると思うが、そういった意見もよく聞きながら進めてほしい。
Ｂグループ （大澤委員）	Ｂブロックについては、再編パターン②が望ましいという意見であった。 大越小学校と樋遣川小学校は一昨年から、原道小学校と豊野小学校は昨年から、それぞれ小小連携を行っており、校外学習や授業で交流を深めている。

	特に、大越小学校と樋遣川小学校は、十分な関係が構築された状態にあり、再編段階で両校を分けることはできないだろう。 ただ、段階的な再編は負担となるため、一気に再編を行うパターン②が望ましいと考える。 新たな学校の設置場所について、小学校４校の再編は、加須北中学校の校舎を使用し、加須北中学校は大利根中学校へ再編する。 大利根中学校の校舎は大きく、加須北中学校の校舎も小学校４校の児童を受け入れることができると考えられ、早急な再編が可能となる。 樋遣川小学校も設置場所として考えたが、スクールバスを運行する場合、停めるスペースがない。 Ａブロックについては、再編パターン②が望ましく、３校を再編し、北川辺中学校の校舎を活用した小中一貫教育を進めていきたいという意見があった。 ただ、広域な学区におけるスクールバスの運行、小中一貫教育へのスムーズな移行を懸念する意見があった。 Ｅブロックについては、再編パターン①が望ましいという意見であった。 一昨年から鴻茎小学校と種足小学校が小小連携を行っていること、小学校５校を一つに再編すると学区が非常に広域となることから、種足小学校と鴻茎小学校を騎西小学校へ、田ケ谷小学校を高柳小学校へ再編する。 ＣブロックとＤブロックについては、基本的には中学校区で考えるという意見であった。 その中でも、加須平成中学校は、施設内にスロープやピロティがあることを踏まえ、加須平成中学校を加須東中学校に再編し、空いた加須平成中学校の校舎を市の施設として活用できないかといった意見があった。
Ｃグループ （江森委員）	Ｂブロックについては、大越小学校が喫緊の課題であるが、こどもの負担を考えると、ブロック内で北西に位置する大越小学校と南東に位置する豊野小学校を含む再編は成り立たないのではないか。 よって、豊野小学校は元和小学校との再編が現実的と考える。 最終的には、その他の再編パターンとして、加須北中学校を中心として、大越小学校、樋遣川小学校、原道小学校を小中一貫校として再編するという意見になった。 Ａブロックについては、再編パターン②が将来を見据えた案となる

	のではないか。 　ただし、現実問題として、複数台のスクールバスを運行することができるのかといった意見もあった。 　Ｅブロックについては、児童数、学級数の観点から再編パターン①が望ましいという意見であった。 　高柳小学校は児童数が増えていることから、再編の時期やスクールバスの運行などを課題として捉える意見があった。 　Ｃブロックについては、加須南小学校は児童数が減少しているため、加須小学校へ再編するということも検討できるのではないか。 　また、志多見小学校、不動岡小学校ともに児童数が減少しており、将来的には加須西中学校を中心とした再編を考えなくてはいけないといった意見があった。 　Ｄブロックについては、花崎北小学校は、線路の北側に住む児童は加須平成中学校へ、南側に住む児童は加須東中学校へそれぞれ進学するといった「分散進学」が課題であり、再編に当たってはこの点も考慮すべきという意見があった。 　いずれにしても、小学校の再編に当たっては、スクールバスの導入を前提に再編の具体化を進める必要がある。 　また、再編の結果、住まいによっては新校よりも別の学校が近いというケースが想定されるため、条件によって進学先を選択できるという対応も考えられる。
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	今回は、前回のグループ協議からさらに具体的な内容に踏み込んだ協議が行われ、幅広い視点からご意見をいただいた。 　グループ協議が終了したため、議事進行を会長にお戻しする。
福田会長	議題（４）今後の取組について、事務局より説明をお願いする。
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	（資料に基づき説明）
福田会長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。 （意見等なし）
福田会長	議題は以上で終了となる。

	本日出た意見は、事務局でよく整理し、適切に対応されたい。 事務局より追加説明はあるか。
鈴木魅力ある学校づくり推進室長	（意見シートの提出について依頼するとともに、次回日程は12月下旬から令和９年１月上旬を予定しており、日程や会場等が決まり次第、委員に通知することを説明）
福田会長	以上で本日予定していた議事はすべて終了した。 これにて本日の議長の任を降りさせていただく。
事務局	閉会のあいさつを二階堂副会長にお願いしたい。
二階堂副会長	（閉会のあいさつ） ４　閉会

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 8 年 10 月 29 日

署名 福田康宏